

事務事業名		広報事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度事業期間	昭和 平成	年度から 年度まで	
所属部門	企画財政課 広報広聴係			課長名	佐野 寿行		担当者名 内線番号	矢野 貴士 ( 222 )	
総合計画体系	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	目	
	政策名	町民が主役となった地域づくり			一般	1	1	2	広報事業
	施策名	徹底した情報公開と説明			予算上の事業名				

法令根拠 | -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果		5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)													
1.手段(事業の概要)		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>広報誌発行回数(年)</td><td>回</td></tr> <tr><td>②</td><td>全世帯数(月)</td><td>戸</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	広報誌発行回数(年)	回	②	全世帯数(月)	戸	③		
名称		単位													
①	広報誌発行回数(年)	回													
②	全世帯数(月)	戸													
③															
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)		6.対象指標(対象の大きさを表す指標)													
<p>広報誌は、ホームページ、フェイスブックは、閲覧できる環境にある方</p>		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>配布世帯数(月)</td><td>戸</td></tr> <tr><td>②</td><td>ホームページアクセス数(日平均)</td><td>件</td></tr> <tr><td>③</td><td>フェイスブック「いいね！」数</td><td>件</td></tr> </table>		名称		単位	①	配布世帯数(月)	戸	②	ホームページアクセス数(日平均)	件	③	フェイスブック「いいね！」数	件
名称		単位													
①	配布世帯数(月)	戸													
②	ホームページアクセス数(日平均)	件													
③	フェイスブック「いいね！」数	件													
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)		7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)													
<p>町民と行政の情報共有と行政の説明責任を果たし、信頼関係を構築する。また、まちづくりへの興味・関心を持ってもらう。</p>		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>毎月広報誌を読む人の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td>広報誌を読んだ中で行政情報を理解した人の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	毎月広報誌を読む人の割合	%	②	広報誌を読んだ中で行政情報を理解した人の割合	%	③		
名称		単位													
①	毎月広報誌を読む人の割合	%													
②	広報誌を読んだ中で行政情報を理解した人の割合	%													
③															
4.結果(どんな結果に結び付けるのか)		8.上位成果指標(結果の達成度合を表す指標)													
<p>信頼関係の構築と、まちづくりに関心を持つことで、住民が主役のまちづくりが実現する。</p>		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>行政情報の公開や説明責任が十分果たされていると思う町民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	行政情報の公開や説明責任が十分果たされていると思う町民の割合	%	②			③		
名称		単位													
①	行政情報の公開や説明責任が十分果たされていると思う町民の割合	%													
②															
③															

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	928,330	796,253	951,000				
	一般財源	円	21,001,885	20,203,772	21,977,000				
	事業費計(A)	円	21,930,215	21,000,025	22,928,000	0			
	人件費								
正職員従事人数	人		2	2	2				
人工数(業務量)	年間		1,4319	1,4641					
人件費計(B)	円		11,798,243	11,390,061					
トータルコスト(A)+(B)	円		33,728,458	32,390,086	22,928,000	0			
活動指標	①	回	12	12	12				
	②	戸	7,859	7,897	7,897	7,897			
	③								
対象指標	①	戸	7,083	7,140	7,140				
	②	件	451	210	250	250			
	③	件	1,715	1,998	2,200	2,200			
成果指標	①	%	54	53	53				
	②	%	77	79	80	80			
	③								
上位成果指標	①	%	51.7	57.8	60.0				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化	
1.この事務事業を開始した背景	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)
<p>町民との行政情報共有を目的に、昭和24年から広報誌を発行し、全戸配布を実施</p>	<p>情報公開、説明責任が重要視される中で、広報誌の役割はさらに重要です。報告型から行政情報公開型、問題提起型に変化し、政策過程なども情報発信してきた。商工業振興と財源確保を目的に有料広告を実施し、貴重な財源になっている。</p> <p>平成28年度6月号から縦書き右開きに変更し、より読みやすい工夫をしている。</p> <p>平成28年2月から町公認フェイスブック芽室応援隊を開設し、情報発信ツールを充実させている。しかし、魅力ある情報発信には投稿者を増やす課題がある。</p>

事務事業名	広報事業	所属部門	企画財政課	広報広聴係
-------	------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望 この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	<p>ホームページでは必要な情報に辿り着けない。迅速で詳しい情報提供を望む意見がある。広報誌の表紙写真の偏り・取材不足や、生活に関わる話題(じゃがバスや高齢問題など)を掲載する声がある。</p> <p>※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記</p>	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性評価	3.成果の向上余地 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) ・広報誌すまいるへのホットボイス回答に対して、追跡記事を掲載することで、検討の結果どうだったかを知らせることで町民の理解を深める。 ・広報誌の見やすさを向上するため、広報広聴係で撮影した町民や風景を掲載することで読んでもらえる誌面の充実を図る。 ・ホームページ検討委員会を設置し、現在のホームページの課題整理と今後のあり方の方向性を決定する。	改革・改善実施の方向性																						
		予算増大	2.改革・改善による期待成果																					
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

31年度以降の取組	平成30年度に検討した結果を踏まえ、平成31年度プロポーザル・移行期間、平成32年度リニューアル開始を目指していく。
-----------	--

※町民等の意見・要望に対する検討結果

写真の掲載手法は性別や年齢のバランスに配慮した上で、情報収集と足を使った取材力で生活にかかわるタイムリーな掲載を継続する。

事務事業名		町民参加推進事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 16 平成	年度から 年度まで	
所属 部門	企画財政課 広報広聴係			課長名	佐野寿行		担当者名 内線番号	矢野貴士 ( 222 )	
総合 計画 体系	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり		予算 科目	会計区分	款	項	目	
	政策名	町民が主役となった地域づくり			一般	2	1	2	町民参加推進事業
	施策名	町民参加の促進			予算上の事業名				

法令根拠 めむろまちづくり参加条例

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果		5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)													
1.手段(事業の概要) 町民参加手続きなどが適正に行われているか、町民参加推進会議を開催し、課題がある場合には指摘していただき、改善などを行ってきた。しかし、総合計画審議会との役割重複から町民参加推進会議体を廃止した(平成29年度から予算なし)		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>推進会議開催回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	推進会議開催回数	回	②			③		
名称		単位													
①	推進会議開催回数	回													
②															
③															
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 全町民と進行管理する委員		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>町民参加手続きを行うべき事業数</td><td>件</td></tr> <tr><td>②</td><td>委員</td><td>人</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	町民参加手続きを行うべき事業数	件	②	委員	人	③		
名称		単位													
①	町民参加手続きを行うべき事業数	件													
②	委員	人													
③															
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 条例が機能し、町民参加手続きが適切に実施され、町民がまちづくりに参加できているかの評価を行う。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>町民参加手続きを行った事業数</td><td>件</td></tr> <tr><td>②</td><td>推進会議から出された意見・提言書の数</td><td>件</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	町民参加手続きを行った事業数	件	②	推進会議から出された意見・提言書の数	件	③		
名称		単位													
①	町民参加手続きを行った事業数	件													
②	推進会議から出された意見・提言書の数	件													
③															
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 町民参加が推進される。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>町民参加の数(過去3年間の平均)</td><td>人/年</td></tr> <tr><td>②</td><td>町民の意見を聞く機会が充実していると思う町民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	町民参加の数(過去3年間の平均)	人/年	②	町民の意見を聞く機会が充実していると思う町民の割合	%	③		
名称		単位													
①	町民参加の数(過去3年間の平均)	人/年													
②	町民の意見を聞く機会が充実していると思う町民の割合	%													
③															

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	28,176						
	事業費計(A)	円	28,176	0	0	0			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
人件費	人工数(業務量)	年間	0.0887	0.0306					
	人件費計(B)	円	730,850	238,055				1	
	トータルコスト(A)+(B)	円	759,026	238,055	0	0			
活動指標	①	回	1	0	0				
	②								
	③								
対象指標	①	件	73	100	100				
	②	人	10	0	0	0			
	③								
成果指標	①	件	73	100	100				
	②	件	7	0	0	0			
	③								
上位成果指標	①	人/年	923	1,445	1,445				
	②	%	50	50	50	50			
	③								

◇事務事業の環境変化	
1.この事務事業を開始した背景 めむろまちづくり参加条例が平成16年5月に施行され、その条例に沿った仕事の進め方がされているかをチェックし、町民参加を推進するため。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 町民参加推進会議と総合計画審議会の評価役割が重複していることを踏まえ一本化を行った。 今後は会議体なくなったことで住民参加手続きが後退することがないように、ホームページやフェイスブックによる周知やパブリックコメントの意見などを広報誌でお知らせする。

事務事業名	町民参加推進事業	所属部門	企画財政課	広報広聴係
-------	----------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	
有効性評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	
効率性評価	3.成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	
公平性評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																				
	・各審議会やパブリックコメントなどの結果や内容を広報誌すまいる・ホームページやフェイスブックで情報発信を迅速に実施する。	廃止 2.改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
31年度以降の取組	・町の新たな事業や取組みは、広報誌すまいるで周知して町民への浸透を図る。																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名	広聴事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 8 平成	年度から 年度まで	
所属部門	企画財政課 広報広聴係		課長名	佐野寿行		担当者名 内線番号	矢野貴士 ( 222 )	
総合計画体系	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり	予算科目	会計区分	款	項	目	
	政策名	町民が主役となった地域づくり		一般	2	1	2	広聴事業
	施策名	徹底した情報公開と説明						
法令根拠	-							

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要)  
 ○個別広聴「ホットボイス(はがき、メール、FAX)」「日常の電話・窓口などにおける意見」  
 ○集団広聴「そよ風トーク(巡回型、団体別、テーマ別)」  
 行政(町長)が町民の意見を聞く機会や、町民が直接行政(町長)と議論や意見交換を行う機会を設定し、情報交換と情報の共有化を行う。

2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)  
 すべての町民

3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)  
 行政との直接対話(傾聴)により、まちづくりに対する意識を高め、積極的に提案や意見などを述べるようになる。

4.結果(どんな結果に結び付けるのか)  
 町民との情報交換、行政情報の共有化、町民が主役のまちづくりにつながる。

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 広聴ツールの数	件
②	
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 人口	人
②	
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① (団体別)そよ風トーク参加者	人
② (巡回型)そよ風トーク参加者	人
③ ホットボイス受理件数	件

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 行政情報の公開や説明責任が十分果たされていると思う町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	41,096	20,291	28,000			
	事業費計(A)	円	41,096	20,291	28,000	0		
	人件費	人	2	2	2			
正職員従事人数	年間	0.3291	0.4013					
人工数(業務量)	円	2,711,643	3,121,939					
人件費計(B)	円	2,711,643	3,121,939					
トータルコスト(A)+(B)	円	2,752,739	3,142,230	28,000	0			
活動指標	①	件	5	5	5			
	②							
	③							
対象指標	①	人	18,809	18,660	18,660			
	②							
	③							
成果指標	①	人	90	166	166			
	②	人	157	107	107			
	③	件	165	182	182	182		
上位成果指標	①	%	51.7	57.8	57.8			
	②							
	③							

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景  
 町政への提案や要望、苦情などを「ホットボイス」や「そよ風トーク」等で把握して、町政に反映し、住みやすいまちづくりを行う観点から開始。

2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)  
 5つの広聴ツール「①ホットボイス」「②日常業務における対応」「③巡回型そよ風トーク」「④テーマ別そよ風トーク」「⑤団体別そよ風トーク」により、町民が意見を述べる機会が増え、町民にとっては意見などを言う場が増えた。  
 それらの意見をまちづくりに、どう生かして、どう反映しているか、どう対応しているかが見える工夫と、それらを通して更なる信頼関係を構築していくことが必要である。  
 また、意見が述べやすい環境づくりは継続して模索する。

事務事業名	広聴事業	所属部門	企画財政課	広報広聴係
-------	------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	・意見を述べても、即予算がないと回答される。 ・町の考えが伝わらないと同時に、聞く機会の方法も伝わって来ない。地区単位で説明してほしい。  ※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	町民が主役のまちづくりは、情報を公開し町民からの意見を聴くことは重要であり、町の責務として進める必要がある。
有効性評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	町民の意見を聴くことは、これからのまちづくりには重要である。
効率性評価	3.成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	
公平性評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	そよ風トークは200人を超える町民が参加して町の施策について、町長と語りあえる場である。
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	新聞折込で多くの町民にそよ風トークの開催内容を知らせるものである。開催日時と開催場所の周知は必要である。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性 業務改善																				
	・平成29年度は意見を述べやすい環境を整えることを考慮し、参加者同士の繋がりのある少年団やサークルなど10団体と実施した。もう1年継続実施したうえで今後の開催手法や実施時期などを検討する。	2.改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

31年度以降の取組	・平成30年度の取組を継続し、必要に応じて見直しを進める。
-----------	-------------------------------

※町民等の意見・要望に対する検討結果  
 町の事業は実行計画に基づいて行っているため、要望に対して即実施できない現状もある。また、開催周知については、広報誌やホームページ・フェイスブック・新聞掲載や新聞折込みで周知しているが、今後も継続して周知を行う。  
 巡回型冬トークは13会場(市街地4所・農村部9所)で実施しているが、日程や開催手法など全庁的な影響があることから精査する必要がある。